

- (ヶ) 試験者は、設備器具と人体動作の関係を作りやすさの観点から観察し、気づいたことを記録す。
- (ゴ) 写真から複写によりTPを作成する。

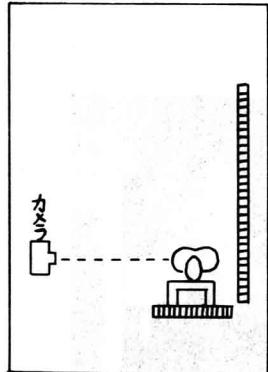


図7 実験室の配置



図8 豆ランプの着装

⑤ TPの内容

T	P	活用のしかた・留意点
TP3 洗面動作1	<p>洗面器の高さ 60cm</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 被験者に使いやすさについての意見を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> • 上部の曲がりぐあいと腰の疲れ • 手洗、ひじの上下と水のしたたり • 頭や上肢の動きの円滑さ ○ TP3 洗面器の高さ60cmのときの洗面動作のサイクルグラフにより身体各部の動きを調べる。 またTP4, 洗面器の高さ75cm, TP5, 洗面器の高さ90cmのときの洗面動作との比較の上に立って、身体各部の動きの特徴を考察する。 ○ 試験者の設備器具と人体動作の関係を使いやすさの上から観察した記録を発表してもらう。
TP4 洗面動作2	<p>洗面器の高さ 75cm</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ TP3の時と同様に洗面器の高さ75cmで洗面動作を行っての感想を聞く。 ○ TP4 洗面器の高さ75cmのときの洗面動作のサイクルグラフにより身体各部の動きを調べる。 ○ 試験者の観察記録を聞く。 ○ なお、各洗面器の高さについて、洗面動作を行い、下記の項目の実測をしておく。 <ul style="list-style-type: none"> • 前後方向の最大寸法 • 左右方向および上下方向の最大寸法 • 高さの違いによる足もとの位置